

2012年5月27日／シトロエン・レーシング発

## 世界ラリー選手権(WRC)アクロポリス

～“ラリーの神様(The Rally of GODS)”シトロエンを讃える～

ラリー主催者が用意した“ラリーの神様”は、シトロエン・トタル・ワールド・ラリー・チームを WRC グリシャラウンドにおいて素晴らしい成績と共にエリシオンへ近づけてくれました。セバスチャン・ローブとダニエル・エレナ組とミッコ・ヒルボネンとヤルモ・レティネン組がメキシコ、アルゼンチンに続いて、今シーズン 3 度目の 1-2 フィニッシュを飾りました。セバスチャン・ローブとシトロエンチームは世界ラリー選手権ポイントスタンディングトップのポイントを更に伸ばしました。ミッコ・ヒルボネンもドライバーズスタンディングで 2 位に振り返りました。



長い 2 日間の闘いの後、アクロポリスラリーの最終日は幾らか楽な設定になっている様でした。65Km の競技区間はサービスパークでの 30 分のサービスを挟んで 2 つに分けられていました。ペター・ソルベルグに対して僅か 10 秒のアドバンテージをもってセバスチャン・ローブはアギ・テオドリのステージに向かって全開でスタートしていきました。数 Km 走行すると、彼の DS3WRC のダッシュボードにペースを落とせのメッセージが届きました。“ペター・ソルベルグがステージ途中で止まっているのを見て、全開走行をやめたんだ。彼をパスした後に、どうやってこの残りの穴ぼこと岩だらけのラリーをマイペースを保って走り切るかを考えたよ”

ソルベルグのリタイヤによって、ミッコ・ヒルボネンは 2 位へとポジションアップとなりました。彼はルートラキのサービスへ戻った時、この状況を容易には理解が出来ませんでした。“僕が 2 位になったなんて信じられないよ。僕は昨日の中盤からずっと自分のポジションを守ってチームへ好成績を残すことだけに専念していたんだ。でもこれで、僕たちには 1-2 フィニッシュの可能性が出てきたんだね”

アクロポリスラリーには予想外の多くの急旋回やコーナーが存在すると知られていますが、SS20でチームは冷や汗をかきました。2巡目、セバスチャン・ローブは1分半のマージンを持ってスタートしました。カーナンバー1番のDS3WRCは途中1本のタイヤにパンクが発生しましたが、このSS最後までタイムロスなしに走りきりました。

”何が起きたかわからない。だけど、3Km位走ったらパンクを感じたんだ。SS最後まで走るの無理だと思ったから途中でタイヤ交換をした。すべてが上手く行ったね。僕たちのリードが最後まで保てたからね”

このラリーは、アギ・テオドリのスタートから数Kmを使用したパワーステージで終了となっていました。セバスチャン・ローブはプレッシャーもなくなり、比較的スムーズなステージで週末最後の素晴らしい走りを披露して、最速タイムを出して3ポイントのボーナスも獲得しました。ミッコ・ヒルボネンもパワーステージで3番手タイムを出して追加のボーナスポイントを獲得。”僕たちは、ライバルからのプレッシャーにも負けず上手くラリーをコントロールできました”とWRC 71勝目を挙げたローブは語りました。”僕は、パンクした時でさえ冷静さを失わなかった。なぜって、僕達は十分なリードを持っていたから。なんと言っても、DS3WRCの信頼性の高い素晴らしい性能があったからだよ”



”そうだね、1-2フィニッシュを語るときメカニック達のことを忘れちゃダメだね”と、ヒルボネンが付け加えました。”2台ともメカカルトラブルは皆無だった。それは、こういったラリーでは絶対条件になるね。いまだに2位になったことが信じられないんだ。でも、僕はマイペースでノーマスだったからね。早くニュージーランドとフィンランドの2戦を走りたいよ”

”このラリーの路面コンディションを見たら、車とチームの総合力を賞賛するべきだ”と、シトロエン・ジェネラル・マネージャーのフレデリック・バンゼは讃えました。

”我がDS3WRCと2クルーは信頼性十分だ。シーズン中盤でシトロエン、セバスチャン・ローブとダニエル・エレナは世界ラリー選手権のリーダーポイントを更に伸ばしたし、この状況は今年のチャンピオンへ向けてとても前向きだ。ここ数戦を見るとヒルボネンとレティネンがドライバーズスタンディングで再び2位にカムバックするなど非常にがんばってくれている。もう1度言おう、世界一の我がラリー・チームをととても誇りに思う”

次回のWRCは、6月22日-6月24日にニュージーランドで開催されます。

2012年もプジョー・シトロエン・ジャポンでは、圧倒的な強さを誇るシトロエン・レーシングとDS3WRCの世界ラリー選手権での活躍をタイムリーに配信して参ります。



www.citroen-wrc.com



【最終結果】

優勝	Loeb/Elena	Citroën DS3 WRC	4h42'03.3"
2位	Hirvonen/Lehtinen	Citroën DS3 WRC	+40.0"
3位	Latvala/Anttila	Ford Fiesta RS WRC	+3'04.8"
4位	Ostberg/Andersson	Ford Fiesta RS WRC	+6'16.4"
5位	Prokop/Hruza	Ford Fiesta RS WRC	+7'46.5"
6位	Neuville/Gilsoul	Citroën DS3 WRC	+9'41.4"
7位	Ogier/Ingrassia	Skoda Fabia S2000	+12'59.9"
8位	Al Rajhi/Orr	Ford Fiesta S2000	+20'12.2"
9位	Tanak/Sikk	Ford Fiesta S2000	+23'18.9"
10位	Al Kuwari/Arena	Mini Cooper JCW WRC	+28'40.5"

【2012 ドライバーズポイント】

	MON	SWE	MEX	POR	ARG	GRE	NZL	FIN	GER	GBR	FRA	ITA	SPA	TOTAL
1 S. Loeb	28	11	27	0	25	28								119
2 M. Hirvonen	14	18	18	0	20	19								89
3 M. Ostberg	0	15	13	25	15	12								80
4 P. Solberg	15	14	18	15	11	0								73
5 J.M. Latvala	0	26	0	2	-	17								45
6 E. Novikov	11	10	0	18	4	0								43
7 M. Prokop	2	2	-	10	12	10								36
8 N. Al-Attayah	-	0	8	12	3	0								23
9 T. Neuville	0	0	0	4	10	8								22
10 S. Ogier	0	0	4	6	6	6								22

【2012 マニュファクチャラーズポイント】

1 Citroën Total WRT	37	28	43	0	43	43								194
2 Ford WRT	15	40	15	26	10	15								121
3 M-Sport Ford WRT	16	12	10	31	12	10								91
4 Citroën Junior WRT	-	-	6	12	12	12								42
5 Qatar WRT	-	8	8	15	6	0								37

\*結果はFIAの最終確認を条件とする。